

地域おこし協力隊 新聞 Vo. 1

10月27日付けで着任しました、弘前市岩木地区地域おこし協力隊です。 2017.11月

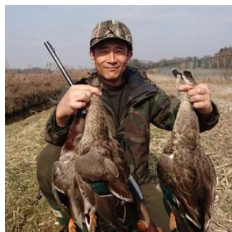
岩木地区の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

協力隊の活動をこの新聞でお知らせしていきたいと思います。

今回は隊員の自己紹介と、オオヤマザクラ植樹会の様子です。

協力隊自己紹介

伊藤 博和
いとう ひろかず
48歳
大阪生まれ



趣味
自給自足“的”な事

鎌田 祥史
かまた よしふみ
29歳
浪岡生まれ



趣味
温泉・カラオケ・卓球・よさこい

佐々木 直美
ささき なおみ
50歳
弘前生まれ



趣味
こぎん刺し・編み物などの手芸

関東の半導体メーカーで勤務後、携帯電話向けサービス開発会社の立ち上げに参画。妻が弘前出身で、初めて訪れた弘前城の桜の美しさと義父の津軽弁にビビりました。(お気に入り：へば)

外から目線で、岩木地区の良さを県外に発信し、地域の活性化に繋がる様な施策を実行したい。

青森で働きたくて帰ってきました。前職は東京でIT関係で働いていたので、パソコン関係でお困りのことがあれば、力になれるかもしれません。

温泉が好きなので、岩木の温泉を勉強して魅力の発信していきたい。

神奈川から30年ぶりのUターン。久しぶりに岩木山が見える生活が心地いいと感じています。

雑貨メーカーやイベント企画の前職を生かし、地域に根付いているものづくりや工芸の分野を応援したいと考えています。

世界一の桜並木

オオヤマザクラ植樹会

11月5日(日)オオヤマザクラの植樹会が百沢地区で行われました。「世界一の桜並木」は昭和60年から10年にわたり、約20km6,500本が植樹されましたが、雪害などで年々減り続けています。日本で最も美しい村づくり岩木協議会では、桜並木が皆様の誇りであり続けるために、補植を行い、守り育てる活動に取り組んでいます。

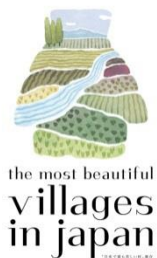
当日は心配された早朝の雨も開始の頃にはやみ、主催者の開会挨拶、作業説明の後、参加者のみなさんは桜の苗木とスコップを持ち、それぞれの持ち場で植樹をしました。苗木を支柱にくくりつけ、根の部分に土をかけ、足で踏みしめていきます。子どもたちは、靴を泥だらけにしなが土を踏むことも、とても楽しそうでした。

「とてもいい記念になりました。春には木の成長を見に来たいです。」という感想を皆様からいただきました。これから寒い冬になりますが、暖くなる春の楽しみがひとつ増えたのではないのでしょうか。

＜「日本で最も美しい村」の内容については、裏面をお読みください。＞



■ 日本で最も美しい村連合とは ■



過疎化や少子高齢化の流れが進む中で、日本各地で長い年月にわたり、自然と人間の営みにより受け継がれてきた美しいふるさとの風景が消えようとしています。本当に美しい日本を未来に残したい、小さくてもオンリーワンの輝きを持つ日本の美しい村を守りたい、それが「日本で最も美しい村」連合の基本理念です。

美しい村連合は、フランスの「最も美しい村運動」をモデルとして、2005年に旧岩木町と姉妹都市であった北海道美瑛町をはじめとする7つの町村が設立しました。現在63の地域が加盟しています。また、美しい村連合は、フランス、イタリア、ベルギーのワロン、カナダのケベックが加盟する「世界で最も美しい村連合会」に加盟しています。

素晴らしい地域資源を持つ地域が、「日本で最も美しい村」を宣言することで、

- 自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行うこと
- 住民によるまちづくり活動を展開することで地域の活性化を図り、地域の自立を推進すること
- 生活の営みにより作られてきた景観や環境を守りこれらを活用することで観光的付加価値を高め、地域の資源の保護と地域経済の発展に寄与することを目的としています。

■ 美しい村として認められた地域資源 ■

1 岩木山を背景に広がるりんご畑と田園風景 2 お山参詣



■ 加盟を契機に ■

1 美しい村の維持・向上

審査では、道路や田畑の手入れが行き届いているとともに、地域全体が清潔であり、まちをきれいにするという思いが伝わってきたと評価されました。また、お山参詣は、住民参加で質が高く、視覚的に魅力的であると評価されました。加盟を契機に、美しい村の住民であるという自信と誇りを持ち、これまで育んできた美しい景観や文化を維持し、向上させていくことが大事です。

2 経済の自立

美しい村連合の日本や欧米の加盟地域どうしのつながりや知名度を活用し、岩木地区の魅力を広く発信できることから、交流人口の増加や地域経済の発展などが期待でき、地域全体で取り組む必要があります。